

6月定例会報告

6月27日(土)午後1時30分～5時

会場：立川・NHK会議室 出席者11名

梅雨らしい天気が続く中、6月の例会が開催されました。撮影勉強会の日付を相談し、11月28日に決まりました。通常の撮影会は次回の例会日に話し合うことになりました。その後、会員10名と堤アドバイザーで作品の発表と作品評を中心に例会が行われました。司会は飯山幹事が務めました。

1. 自主作品の発表と堤 講評&会員の合評

片山正晴さん「マルチコプター」7分30秒(HD)



首相官邸の屋上で発見されたドローン騒動ですが、私は、おもちゃのマルチコプターを、騒ぎの10

日前に購入手配していました。評：繰返しが多い作品だが、冗長さを感じさせないのは構成と音楽と、ユーモラスな内容によるもの。最初の構造説明で、ロングとアップ画面が分かれているのは解り難い。ズームでつなぐと解りやすくなる。撮影専任の協力がいたほうがよかった。

飯山 一伸さん「珍しい危険な踏切」5分31秒



“東村山50景”に選ばれた珍しい踏切です(ゆずりあいの踏切)。5つの道路が交差し、踏切内に危険な

交差点があります。評：踏切の赤い点滅ライトと音、ポールの上移動も入れると危険度が強調される。踏切を渡るドライバー目線の映像も入ると、もっと危険心理が伝わる。地図等も入れ、踏切の補足説明(解説)を入れると良い。

加藤 守さん「雲上散歩」3分28秒(HD)

60年ぶりに訪ねてみました。学生時代と違い足元を気にしながらの登山でした。学生時代の紅葉はもっ



と赤が多かったように思いましたが、それでも鮮やかな紅葉と紺碧の青空の千畳敷カールを満喫しました。機材は軽量コンパクトを重視したため三脚の性能が悪くパンが安定しません。評：2カット目をファーストカットに。雲海の映像を多く入れてみてはどうか。山の名前を字幕スーパーで入れると良い。水面のカットは変化を持たせたほうがよい。

竹科直士さん「風薫る五月の藤」7分40秒



足利フラワーセンターの藤の花を映すセンター自慢の藤の大木は見事でした。その他の花々も咲く、

天気の良い休日だったので人出が多かった。評：カメラをパンしてでもフジの大きさを表現したかった。風に揺らぐフジの花をカメラを高くして下の土と一緒に撮ると良い。シャクナゲ、ツツジの色もきれいだ。

渡辺 實さん「東京運河クルーズ」7分40秒



東京の運河から船で眺望を楽しむツアーに参加した。隅田川から小名木川(おなぎがわ)、横十間

川(よこじゅっけんがわ)と回り、話には聞いていた閘門(こうもん)を体験し、東京スカイツリーを仰ぎ見て、2時間のツアーを満足して終わった。評：高価で入れない千疋屋を見せて貰えた。配られた地図を活用したコースの案内が良いアイデアだ。帰路の閘門の凄い増水を紹介したのが良かった。

黒澤 眞さん「天童温泉と羽黒山」7分22秒(HD)



将棋の駒で有名な天童で温泉を楽しみ、翌日は羽黒山にお参りに行きました。平成26年羽黒山ご

開祖の蜂子皇子の尊像が明治以降初めてご開帳にな

りました。評：山登りは人が登っている画が欲しい。五重の塔は下に人が居て大きさが比較出来るのでチルトアップが良かった。町のオブジェや神社の額はもっとアップが欲しい。夕立後の虹が出た町の情景は良かった。

石原恙逸さん「井の頭公園の春」6分30秒(HD)



昨年冬、外来魚の駆除と池の清掃を兼ねた池のかいぼりが行われていた。一年後の今年の春、池は

どのようなになったか桜の時期に公園を訪ねた。評：かいぼりの様子は良く分かった。過去の映像に白いぼかしは良かった。池の水がきれいになったことを表現するには、水鳥のシーンや噴水を前の方に持ってきた方が良い。編集としては、過去の映像と現在の映像を交互に持ってきた方が、分かりやすいのではないか。花等のアップがあればもっと良かった。

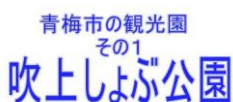
古谷 毅さん「吹上しょうぶ公園」6分25秒



山の仲間と花しょうぶを見に行きました。自然豊かな谷間に咲く花は見事でした。評：青梅駅構内の

映画の看板と喫茶店の場面は前後を逆にして青梅の街でくつろいだというようにまとめた方が良い。編集内容は撮影順序にこだわらず、見る人にわかるように編集すべきだ。

岩沢 初男さん「吹上しょうぶ公園」10分(HD)



吹上しょうぶ公園の看板が家の前にあったので、しょうぶの花は濡れているほうがきれいなので小

雨が降りそうなときにカメラを持って出かけてみました。開門とともに小雨がふってきたので傘をかぶってカメラを回してみました。評：花の描写が連続しているが、間に見物人などを入れると良い。パンからズームのカットが連続するのはまずいので一旦切る。入場券を買うドローリ撮影を入場するまで続けたら良かった。

みんなの広場



それでもやめられない

荒木 勉

最近の夏は暑い日が多く、猛暑日も増え続けています。各地で夏祭りが盛んに行われますが、炎天下ではやるのも見るのも大変です。数年前に京都祇園祭を撮影しに行ったとき、猛暑日になってしまいました。その中を2日間で4万歩近く歩き回り、一週間くらい体調が悪くなりました。もちろんほかの所でも見るのは大変です。黒っぽいズボンでは汗の跡が白くくっきり出てしまう事もあります。常識的に考えれば異常な行動でしょうが、現地に行くといついつい追いかけてしまいます。暑さで頭がぼーっとして正常な判断ができにくくなるのも一因です。体にあまりよくないと思いつつも、それでも撮影はやめられません。

2. 交流クラブの会報類を回覧

浜松遊映会通信5月号を回覧しました。今回で定例会での回覧は終了することとなりました。

7月例会のお知らせ

7月25日(土) 午後1時30分～5時

梅雨も明けて猛暑の日々となりましたが、体調を整えて例会に出席し、これからの行事についての意見交換をお願いします。

(編集後記)

今年の夏はいきなり猛暑になったり、台風がきたりと、なかなか大変な気象です。外に出るのもおっくうになりますが、体調に気を付けて撮影していきたいと思います。

(荒木 勉 記)